

2025年日本国際博覧会 万博をきっかけとしたESDについての 計画・教材作成・運営業務 事業者選定結果について

本業務について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり最優秀提案事業者(契約候補者)を選定しましたので、お知らせします。

1 審査手法

事業者(3者)から提案のあった内容について、選定委員会委員による審査を行い、最優秀提案事業者を選定いたしました。審査にあたっては、令和6年3月26日に事業予定者選定委員会を実施し、選定委員会委員による採点(100点満点)を行いました。

2 審査結果

(1)最優秀提案事業者(契約候補者)

JTB・SUNReality 共同企業体

評価点 84.9点

提案金額 44,969,650円(消費税及び地方消費税を含む)

(2)提案事業者(五十音順)

アイ・シー・ネット株式会社

JTB・SUNReality 共同企業体

株式会社 LearnMore

(3)評価点(得点順)

①84.9点

②62.4点

③52.8点

3 最優秀提案事業者の選定理由(講評)

- ・実施体制について、専門家との連携も含め、組織的に整備されている。バーチャル教育開発の経験ある企業と連携し体制を整えている。国の案件の採用実績が3件あり経験が豊富である。
- ・プログラムフォーマットとして【A】固定フォーマット型、【B】会場アレンジ型、【C】ハイブリッド型の3つを設定し、多様な学びのスタイルを提案している。事前・リアル会場・事後の学習を設定し、問題解決学習を保証しており意欲的である。実際の業務に当たっては、小・中・高で訴求の仕方が違うことを意識し、メリハリをつけられたい。
- ・「バーチャル万博ルーム・デジタル教材」や「Web コンテンツ」の提案は、会場に来場できない遠隔地の学校や生徒にとっても万博でのESDの学びに参画できる機会を生み出すことにつながる。実際の業務に当たっては、大阪・関西万博での持続可能性有識者委員会の議論を反

映し、ユースの参加を募る、国際交流の要素を含める等の配慮をすること。

4 選定委員会委員(五十音順、敬称略)

氏名	所属・役職	選定理由
阿多 博文	弁護士法人興和法律事務所 弁護士	法的観点、公正性・公平性に関する知見から審査いただくため
及川 幸彦	奈良教育大学 准教授 ESD・SDGs センター副センター長	奈良教育大学 ESD・SDGs センターの副センター長としての観点から、総合的に審査いただくため。
崎田 裕子	ジャーナリスト・環境カウンセラー	教育および資源循環の観点から審査いただくため。
下田 吉之	大阪大学大学院工学研究科 環境エネルギー工学専攻 教授	教育および脱炭素の観点から審査いただくため。